

## インフルエンザ週報 2017年 第50週 (12月11日～12月17日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

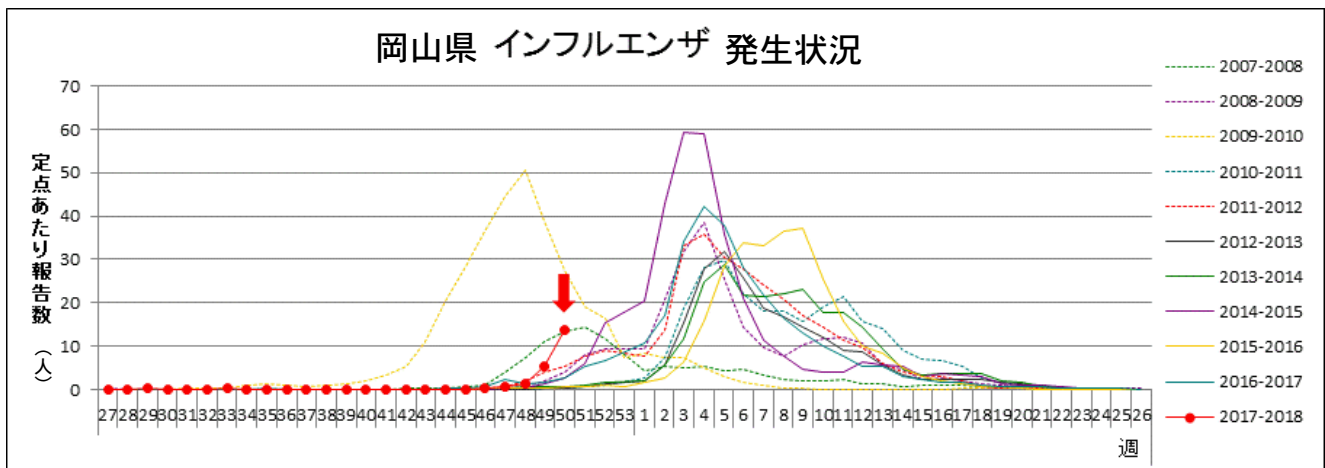
【お知らせ】 次週、2017年第51週(12/18～12/24)のインフルエンザ週報は、  
12月28日(木) 17:00にホームページへ掲載いたします。

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で1,145名(定点あたり13.63人)の報告がありました。(84定点医療機関報告)
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が33施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者3名の報告がありました。

## 【第51週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が59施設でありました。(12月18日～21日)



インフルエンザは、県全体で1,145名(定点あたり5.24 → 13.63人)の報告があり、前週より大きく増加しました。岡山県は、12月7日に「**インフルエンザ注意報**」を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市(28.88人)、備中地域(20.00人)、美作地域(12.40人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、全ての地域で患者が増加し、急速に流行が拡大しています。特に岡山市(5.23 → 10.73人)、倉敷市(11.13 → 28.88人)、備中地域(6.33 → 20.00人)、美作地域(4.10 → 12.40人)では、発生レベル2となっています。

第50週の学校等の臨時休業は、前週(12施設)より増加し、33施設から報告がありました。第51週(12/18～)もすでに多くの施設から報告されています。県内の発生状況に注意するとともに、『外出後や食事前の手洗いを徹底する』、『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』、『十分な睡眠をとる』など、感染予防に努めましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

**◆インフルエンザは流行期に入っています。  
感染予防に努めましょう。**

## 【 予 防 】

- \* 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- \* 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- \* 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- \* 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

## 【 かかったかな? という時には 】

- \* 早めに医療機関を受診しましょう。
- \* 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。
- \* 周りの人にうつさないように、『[咳エチケット](#)』を心がけましょう。

1. 地域別発生状況  
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1,145	↑	備 中	患者数	240	↑
	定点あたり	13.63			定点あたり	20.00	
岡山市	患者数	236	↑	備 北	患者数	23	↑
	定点あたり	10.73			定点あたり	3.83	
倉敷市	患者数	462	↑	真 庭	患者数	29	↑
	定点あたり	28.88			定点あたり	9.67	
備 前	患者数	31	↑	美 作	患者数	124	↑
	定点あたり	2.07			定点あたり	12.40	

【記号の説明】 前週からの推移    ↑：大幅な増加    ↗：増加    →：ほぼ増減なし    ↓：大幅な減少    ↘：減少  
 大幅：前週比 100%以上の増減                      増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ

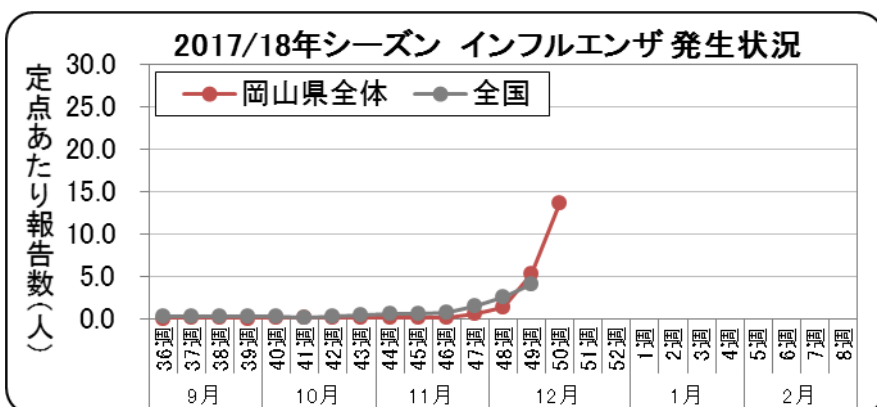
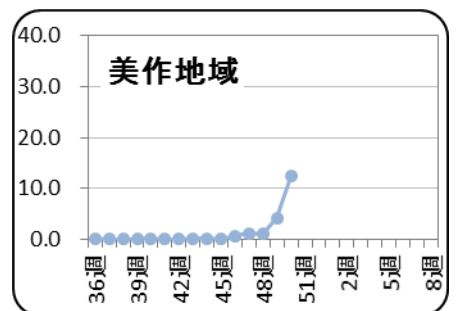
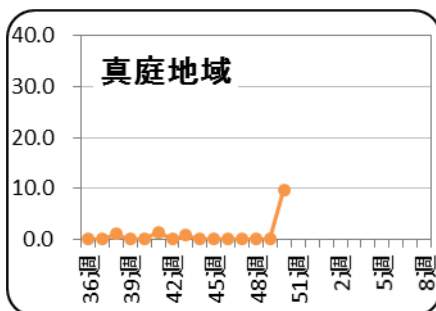
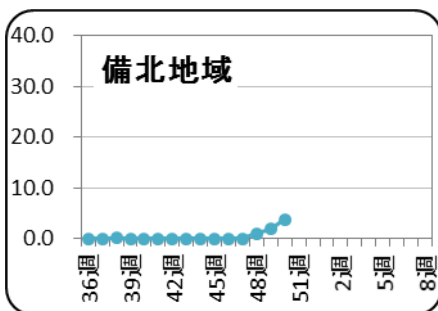
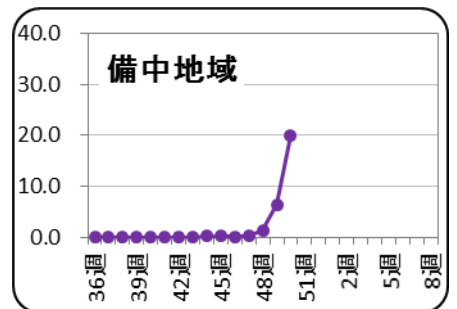
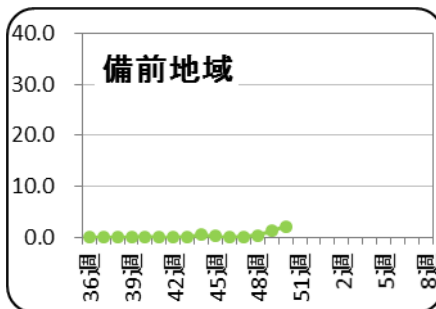
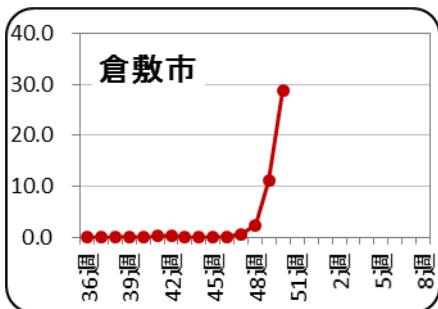
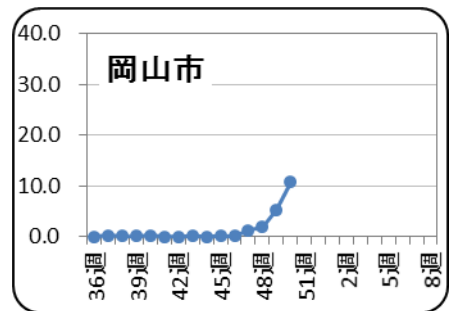


<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 < 10 未満	0

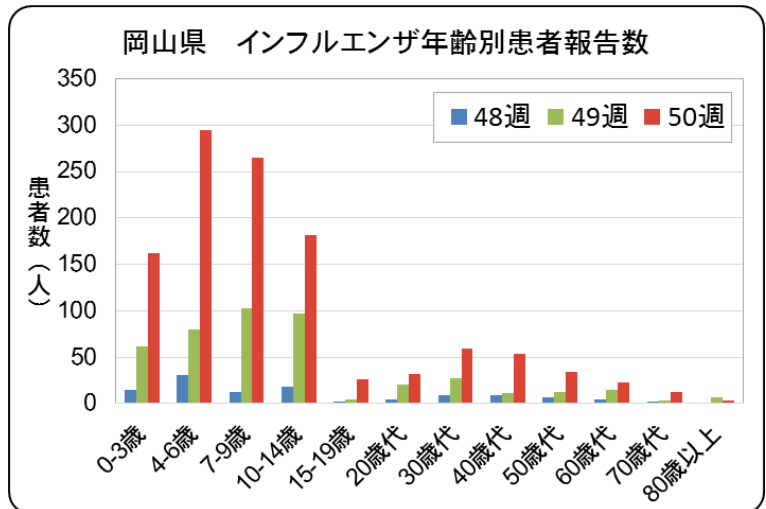
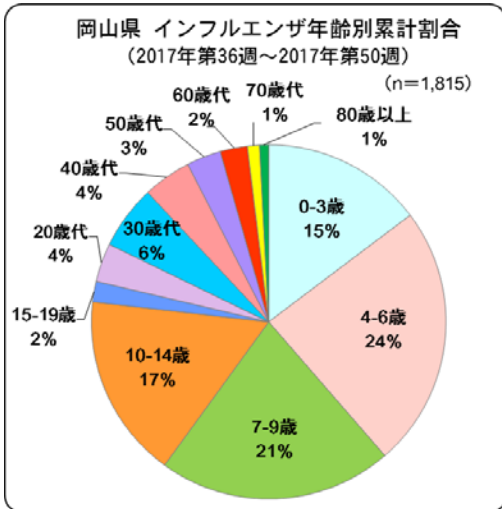


全国集計第49週（12/4～12/10）速報値によると、全国の定点あたり報告数は4.06人となり、前週（2.58人）より増加しました。都道府県別では、長崎県（10.51人）、沖縄県（7.07人）、大分県（6.84人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、46都道府県で前週の報告数よりも増加がみられました。

[インフルエンザの発生状況について](#)  
[\(厚生労働省\)](#)

## 2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、4-6歳 24%、7-9歳 21%、10-14歳 17%の順で高くなっています。週別の患者報告数を見ると、幼稚園・小学校・中学校を中心とした集団生活をしている年齢層で大きく増加しています。

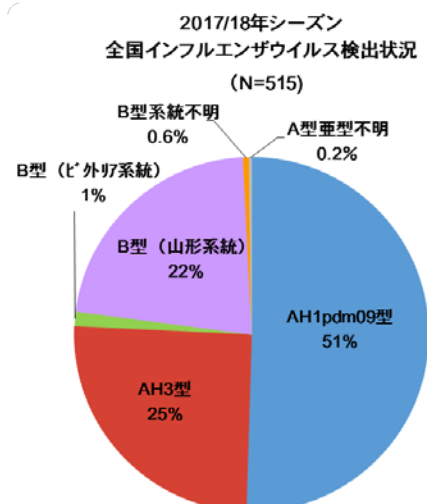
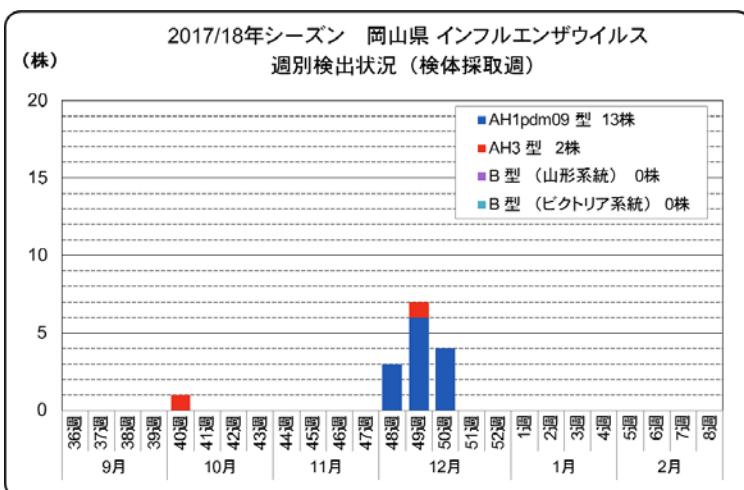


## 3. インフルエンザウイルス検出状況

第50週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、6株（詳細は下表参照）でした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは15株で、その内訳は、AH1pdm09型 13株、AH3型 2株となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 51%、AH3型 25%、B型 23.6%〔山形系統 22%・ビクトリア系統 1%・系統不明 0.6%〕、A型亜型不明 0.2%が検出されています（12月15日現在）。

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2017年第50週(12/11～12/17)	2017/12/12	備中	中学生	女	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2017年第50週(12/11～12/17)	2017/12/11	美作	小学生	男	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2017年第50週(12/11～12/17)	2017/12/11	美作	小学生	女	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2017年第50週(12/11～12/17)	2017/12/11	美作	小学生	男	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2017年第49週(12/4～12/10)	2017/12/7	倉敷市	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH3型	2017年第49週(12/4～12/10)	2017/12/4	倉敷市	40代	女	

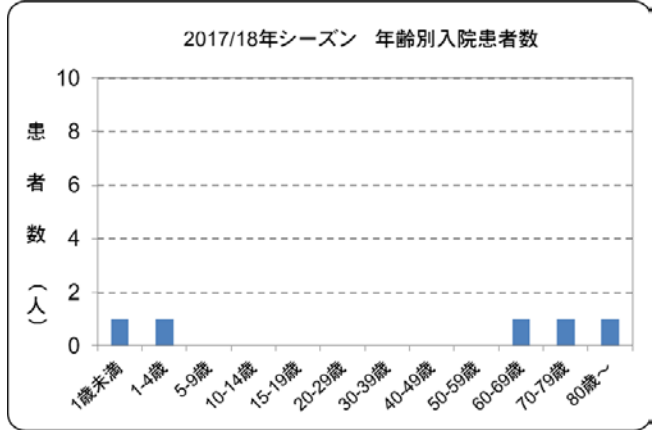
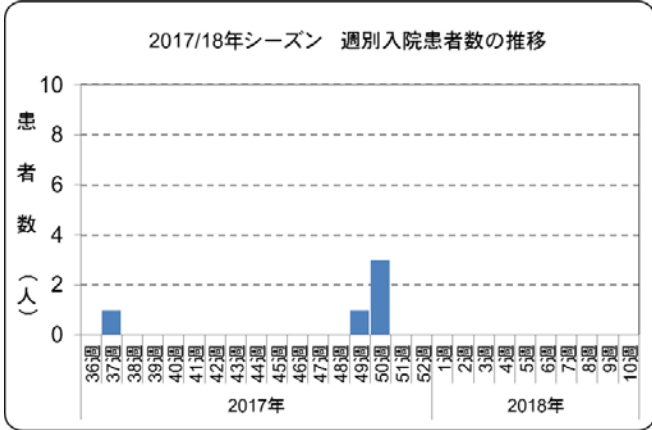




5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、3名（1歳未満 1名、60-69歳 1名、70-79歳 1名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうととしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 50 週 入院患者報告数】

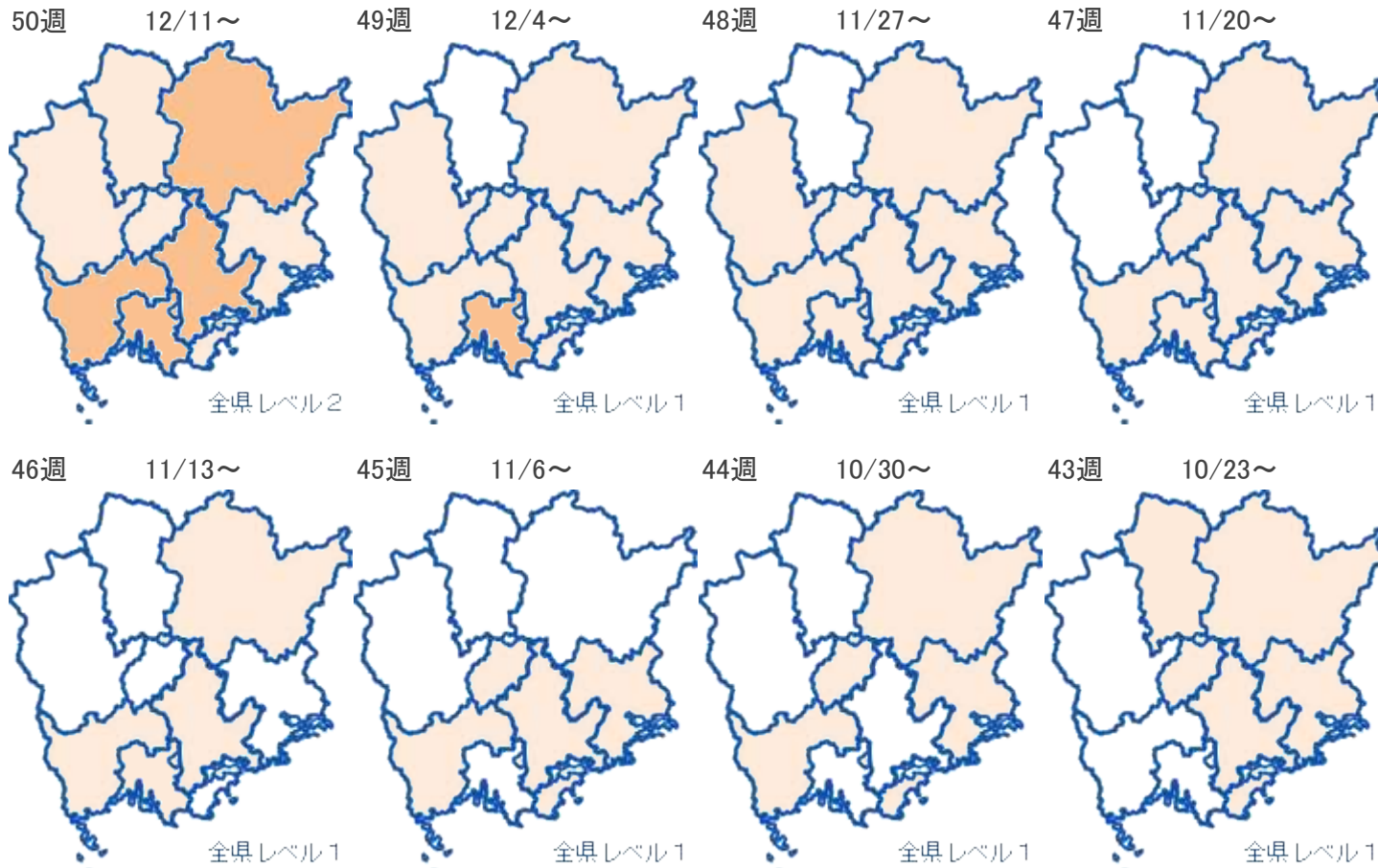
年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1									1	1		3
ICU 入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *													
頭部 MRI 検査(予定含) *													
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず	1									1	1		3

\* 重複あり

【2017年9月4日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	1								1	1	1	5
ICU 入室 *		1											1
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *		1											1
頭部 MRI 検査(予定含) *		1											1
脳波検査 (予定含) *		1											1
いずれにも該当せず	1									1	1	1	4

\* 重複あり



## インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。